



(株)地域ブランディング研究所と信金中央金庫が業務連携
～2020年、訪日外国人旅行者数4000万人に向けて、外国人向け体験プログラムの販路拡大～

【概要】

株式会社地域ブランディング研究所（東京都台東区、以下同研究所）は信金中央金庫（東京都中央区、以下信金中金）と連携し、全国各地のインバウンドプロモーションを支援する。

【背景】

昨今、伸び行くインバウンドマーケットにおいて、2020年の観光庁の目標に対しての訪日観光客数は、実現可能なラインとなっている一方、消費金額についてまだまだ程遠い状況である。2020年目標8兆円に対し、2017年度4.4兆円）観光庁・自治体共に力を入れているテーマとして、タビナカ市場における着地型体験プログラムの造成・ブラッシュアップ・海外への販路拡大が、現状大きな至上命題となっている。また、昨今、訪日外国人の関心の変化があり「モノ消費」から「コト消費」、旅行形態も団体ツアー旅行から個人旅行にシフトしているため、そこに合わせた体験プログラムの展開が必要となっている。

【業務連携の内容】

今回の連携では、地域の特性・文化を熟知する信用金庫を通し、その取引先から募る体験メニューを同研究所が運営する、オンラインで海外の旅行会社と日本全国各地の体験プログラムとを繋げる訪日外国人向け日本文化体験予約サイト「Attractive JAPAN」へ掲載する。全国各地へ訪日外国人を誘致し、地域活性化に貢献する狙いだ。同研究所は、全世界20カ国1000社以上のネットワークを有し、同サイトへの掲載は、連携する世界的な大手旅行情報・予約サイトへの掲載にも繋げることが可能。それにより、世界各国から掲載企業・地域へのインバウンド誘客・誘致が可能となる。また、同研究所は、体験メニュー構築から最終的な決済や予約問い合わせまでのワンストップサービスを提供出来ることを強みとするため、掲載希望企業は、集客だけでなく、体験メニュー構築や外国人対応等に関する簡易コンサルティング等も受けることができ、サポートシステムの委託も可能になる。（具体的なサービス内容：外国人対応等に関する簡易コンサルティング、体験メニュー構築、掲載情報の翻訳・手続き、予約受付、事前問合せ、事前決済等が可能）

